

＜子ども教育学科小学校・特別支援学校コース＞（認定課程：小一種免、特支一種免、幼一種免）

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神について理解し教養力の基盤をつくり、それに基づく豊かな人間性、社会性、コミュニケーション力、協働性などの総合的な人間力の向上に努める態度を身に付ける。 ・子ども教育に関わる職種とその専門性を理解し、教師を目指す思いを説明できる。教育・特別支援教育の意義・目的や特別支援が必要な子どもについて理解し、子どもに学び共に成長する姿勢を身につける。 ・小学校の各教科の目標と専門的内容を理解する。音楽・造形など実技科目の基礎技術を習得する。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神について理解し教養力の基盤をつくり、それに基づく豊かな人間性、社会性、コミュニケーション力、協働性などの総合的な人間力の向上に努める態度を身に付ける。 ・幼児・児童の発達の特徴ならびに小学校の各教科の目標と専門的内容の理解を深め説明できる。実技科目の基礎技術を習得する。発達障害について理解し、個々の子どもの実態に応じた指導があることを理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神の理解を深め、豊かな人間性、社会性、コミュニケーション力、協働性などの総合的な人間力の向上に努める。 ・学校見学を通して、教師の仕事や学校の役割について具体的に説明できる。 ・学習指導における教育方法を理解するとともに、指導法の授業において、その科目の学習指導案・板書計画・発問計画を作成することができる。障害種に応じた指導ならびに個々の子どもの実態に応じた配慮や支援について説明できる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神の理解を深め、総合的な人間力の向上に努め、子どもと親しみをもったコミュニケーションをとることができる。 ・教師の職務を説明できるとともに、学校教育に関する主な法令・政策について理解する。児童の発達の特徴や生徒指導のポイントについて説明できる。教育課程編成や学習指導要領を理解するとともに、各科目の目標と内容に関する知識や技能を高める。障害種に応じた指導ならびに個々の子どもの実態に応じた配慮や支援について説明できる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神に基づく総合的な人間力に裏づけられた、社会人にふさわしい言動や態度をとることができる。 ・指導法の授業において、その科目の学習指導案・教材作成・板書計画・発問計画を作成することができる。 ・知的障害児と肢体不自由児の心理・生理・病理を理解し、根拠を持った指導につなげることができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神を学修に反映させ、教育実習を通して実践的指導力をつける。 ・学校教育を取り巻く状況や子どもの教育課題が説明でき、教育相談の必要性を理解し、知識・技術を身に付ける。 ・小学校教育実習を通して、子どもの発達や実態に応じた学習指導案作成や計画に沿いながら、子どもの反応をふまえた授業実践ができる。 ・重複障害の理解とともに、特別支援学校教育実習を通して、教育課程や授業・学習指導の実際を説明できるとともに、個々の子どもへの工夫された指導について根拠をもって説明することができる。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神を生活全般において体現し、子どもを取り巻く教育課題を踏まえた実践的指導力を一層高める。 ・教育に対する使命感や熱意を持ち、求められる教師像や目指す教師像を説明できる。今日における子どもの環境や課題を説明できるとともに、課題解決にむけて専門職として学び続ける態度を身につける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神を生活全般において体現し、4年間の学びを振り返り教師になる上での自己課題を自覚し、課題の克服に向けて努力できる。 ・教師の役割と職務を深く理解して、組織の一員として連携・協働して職務を担うことができる。教育現場の具体的な事例について、個々の子どもの発達や状態に沿った指導・支援を説明できるとともに、学生同士で根拠のある議論や修正ができる。

<子ども教育学科保育園・幼稚園コース>（認定課程：幼一種免、小一種免、特支一種）

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神について理解し教養力の基盤をつくり、それに基づく豊かな人間性、社会性、コミュニケーション力、協働性などの総合的な人間力の向上に努める態度を身につける。 ・子ども教育に関わる職種とその専門性を理解し、教育・保育者を目指す思いを説明できる。 ・幼児教育・保育の原理、ならびに子どもの発達と健康、特別支援が必要な子どもについて理解する。保育実践で必要な表現技術の基礎を身につける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神について理解し教養力の基盤をつくり、それに基づく豊かな人間性、社会性、コミュニケーション力、協働性などの総合的な人間力の向上に努める態度を身につける。 ・子どもの健康と安全、保育内容に関する基本的な知識と音楽・造形の基礎技術を身につける。特別支援教育においては、個々の子どもの実態に応じた指導があることを理解する。
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神の理解を深め、豊かな人間性、社会性、コミュニケーション力、協働性などの総合的な人間力の向上に努める。 ・保育・幼児教育のねらい及び内容について、説明できる。保育・教育課程編成、保育計画について説明でき、基本的な保育指導案の作成方法を理解している。子どもの障害種に応じた指導について説明ができる。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神の理解を深め、総合的な人間力の向上に努め、子どもと親しみをもったコミュニケーションをとることができる。 ・保育者・幼稚園教諭の職務を説明できるとともに、保育・幼児教育に関する主な法令・政策について理解する。 ・子どものこころの発達過程の概要を説明できる。子どもの発達段階に応じて、どのような表現技術が活用できるかを説明できる。保育内容の授業において、子どもの発達を考慮した活動の保育指導案が立案できる。子どもの障害種に応じた指導について説明ができる。
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神に基づく総合的な人間力に裏づけられた、社会人にふさわしい言動や態度をとることができる。 ・教育の基礎理論を理解し、子どもに学び共に成長する姿勢を身につける。 ・保育・幼稚園教育と小学校教育とのつながりを理解して、保育実践を行うことができる。保育実践に必要な技術や具体的な保育方法を身につけている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神を学修に反映させ、教育実習などを通して実践力を身につける。 ・保育・教育を取り巻く状況を説明できる。相談支援等に関する必要性を理解し、知識・技術を身につける。 ・幼稚園・特別支援学校教育実習を通して、子どもの発達や実態に応じた教材や環境構成等を工夫し、ねらいを意識した保育指導案の立案ができる。 ・保育指導案に沿いながら、子どもの反応をふまえた実践ができる。 ・子どもの健康と安全に関する指導について、説明できる。
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神を生活全般において体現し、子どもを取り巻く教育課題を踏まえた実践的指導力を一層高める。 ・保育・幼児教育に対する使命感や熱意を持ち、求められる保育者像や目指す保育者像を説明できる。今日における子どもの環境や課題を説明するとともに、課題解決にむけて専門職として学び続ける姿勢をもっている。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神を生活全般において体現し、4年間の学びを振り返り教員になる上での自己課題を自覚し、課題の克服に向けて努力できる。 ・幼稚園教諭・保育士の役割と職務を理解して、組織の一員として連携・協働して職務を担うことができる。 ・保育・教育現場の具体的な事例について、個々の子どもの発達や状態に沿った指導・支援を説明できるとともに、学生同士で根拠のある議論や修正ができる。